



2020年10月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年3月10日

上場会社名 くら寿司株式会社

上場取引所 東

コード番号 2695 URL <http://www.kura-corporo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 津田 京一

TEL 072-493-6189

四半期報告書提出予定日 2020年3月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年10月期第1四半期の連結業績(2019年11月1日～2020年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期第1四半期	35,903	7.2	1,197	1.1	1,366	2.0	958	15.4
2019年10月期第1四半期	33,504	2.0	1,210	30.7	1,393	23.3	830	29.0

(注) 包括利益 2020年10月期第1四半期 1,188百万円 (31.5%) 2019年10月期第1四半期 903百万円 (26.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年10月期第1四半期	48.56	
2019年10月期第1四半期	42.08	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年10月期第1四半期	76,111	47,545	58.3
2019年10月期	68,216	47,211	64.5

(参考) 自己資本 2020年10月期第1四半期 44,349百万円 2019年10月期 43,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年10月期		0.00		40.00	40.00
2020年10月期					
2020年10月期(予想)		0.00		40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年10月期の連結業績予想(2019年11月1日～2020年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	144,113	5.9	5,602	2.3	6,331	3.2	3,821	1.5	193.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年10月期1Q	20,699,800 株	2019年10月期	20,699,800 株
期末自己株式数	2020年10月期1Q	956,866 株	2019年10月期	956,866 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年10月期1Q	19,742,934 株	2019年10月期1Q	19,743,033 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提条件その他関連する事項につきましてはP2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年11月1日から2020年1月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善から緩やかな景気回復基調となりましたが、個人消費におきましては消費税増税の影響もあり、一部停滞が見られました。また、英国のEU離脱による混乱や、新型コロナウイルスの世界的な流行の兆しなど海外経済の不確実性が高まり、先行き不透明な状況となりました。

外食産業におきましては、引き続き人件費・原材料費等のコスト上昇に加え、中食などの業態を超えた顧客獲得競争の激化により引き続き厳しい環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、お客様に安心・安全にお食事いただけるようさまざまな取り組みを行っております。食材は衛生管理の行き届いたセントラルキッチンで加工し、毎日衛生管理室による食材の安全性のチェックを行い、厨房内では従業員が商品に直接手で触れないオペレーションを確立しております。また、出来立ての商品をすばやく提供できる「オーダーレーン」、商品を菌やウイルスから守り、当社で特許取得済の鮮度を保つ寿司キャップ「鮮度くん」などを活用し、お客様に安心・安全にお食事いただけるよう「見えないところを大切に」商品提供しております。

当第1四半期連結累計期間におきましても、お客様の満足度を高めるべくさまざまな商品提案を行いました。

販売促進面におきましては、「かにとまぐるフェア」や「北海フェアとかにまつり」などのフェアを毎月実施いたしました。また、フェアに合わせて人気アニメ「ポケットモンスター」のグッズが当たるキャンペーンを実施いたしました。

2020年1月にはグローバル旗艦店として「浅草ROX店」をオープンいたしました。インバウンド対応はもちろん、座席数272席の大型店舗に提灯やお面、射的ゲームなど日本のお祭りの屋台をイメージした新しいコンセプトの店舗となっております。また、クリエイティブディレクターの佐藤可士和氏にブランディングを依頼し、「くら寿司」のロゴマークも伝統の江戸文字をベースにデザインを一新いたしました。今後も順次、国内外の店舗においてブランド構築を行ってまいります。

店舗開発につきましては、国内9店舗、台湾2店舗の計11店舗を出店いたしました。米国、台湾とも引き続き戦略的な出店を行い、日本の食文化の海外発信に努めてまいります。

当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、全て直営で496店舗(「無添蔵」4店舗、「くら天然魚市場」1店舗、米国23店舗、台湾22店舗を含む)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高359億3百万円、経常利益13億66百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億58百万円となりました。

なお、当社グループは飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は、761億11百万円となり、前連結会計年度末と比較して78億94百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金が8億76百万円減少した一方で、有形固定資産が84億22百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して75億60百万円増加し、285億66百万円となりました。これは、主に流動負債のその他が11億61百万円、リース債務が66億8百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金が1億69百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して3億34百万円増加し、475億45百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月12日に公表いたしました業績予想につきまして、現在のところ変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,965	20,089
売掛金	1,883	1,990
原材料及び貯蔵品	1,342	1,483
その他	1,373	1,382
流動資産合計	25,565	24,945
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	19,561	20,435
その他(純額)	11,819	19,367
有形固定資産合計	31,380	39,803
無形固定資産	688	643
投資その他の資産		
長期貸付金	4,302	4,359
差入保証金	4,848	4,978
その他	1,430	1,381
投資その他の資産合計	10,582	10,720
固定資産合計	42,651	51,166
資産合計	68,216	76,111
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,123	5,473
短期借入金	36	38
未払金	5,212	5,601
未払法人税等	1,398	685
その他	3,538	4,700
流動負債合計	15,309	16,499
固定負債		
リース債務	3,057	9,665
資産除去債務	1,853	1,948
その他	785	452
固定負債合計	5,695	12,066
負債合計	21,005	28,566
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,005	2,005
資本剰余金	4,146	4,146
利益剰余金	40,255	40,425
自己株式	△2,354	△2,354
株主資本合計	44,053	44,222
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△67	127
その他の包括利益累計額合計	△67	127
新株予約権	167	102
非支配株主持分	3,058	3,092
純資産合計	47,211	47,545
負債純資産合計	68,216	76,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)
売上高	33,504	35,903
売上原価	15,487	16,160
売上総利益	18,017	19,742
販売費及び一般管理費	16,806	18,545
営業利益	1,210	1,197
営業外収益		
受取利息	13	33
受取手数料	100	105
物販収入	68	29
受取補償金	76	—
雑収入	19	25
為替差益	—	19
営業外収益合計	279	214
営業外費用		
支払利息	17	24
為替差損	35	—
物販原価	39	14
雑損失	3	6
営業外費用合計	96	45
経常利益	1,393	1,366
特別利益		
固定資産売却益	0	—
新株予約権戻入益	—	80
特別利益合計	0	80
特別損失		
固定資産除却損	10	17
減損損失	—	11
特別損失合計	10	29
税金等調整前四半期純利益	1,383	1,416
法人税、住民税及び事業税	453	440
法人税等調整額	99	74
法人税等合計	552	515
四半期純利益	830	901
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△57
親会社株主に帰属する四半期純利益	830	958

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)
四半期純利益	830	901
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	72	287
その他の包括利益合計	72	287
四半期包括利益	903	1,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	903	1,153
非支配株主に係る四半期包括利益	—	34

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「リース」(IFRS第16号及び米国会計基準ASU2016-02))

当第1四半期連結会計期間の期首より、在外連結子会社において「リース」(IFRS第16号及び米国会計基準ASU2016-02)を適用しております。

これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することといたしました。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に利益剰余金の期首残高の修正として認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、主に有形固定資産の「その他」が61億81百万円、流動負債の「その他」が7億22百万円、固定負債の「リース債務」が57億36百万円それぞれ増加し、固定負債の「その他」が3億48百万円、利益剰余金が12百万円それぞれ減少しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。